

ベンリーHL150 施工要領書

二瀬窯業株式会社

1. 下地処理

- ① コンクリート表面にレイトンス、汚れ、油分等があれば全て取り除き、水洗い清掃等を行って下さい。
- ② ベンリーHL150 の接地面には水打ちを行い湿潤状態とし、余分な水分は除去して下さい。
※下地コンクリート等の乾燥が著しい場合や、打設前の水湿しが難しい場合等は、吸水調整剤(ユニレックス 3 を 5 倍希釈)の塗布を推奨します。

2. ベンリーHL150 の混練

混練に関しては、水道水 4.2～4.3 ℓにつきベンリーHL150(1袋：25kg)を徐々に加えながら、高速用ハンドミキサー等を使用してよく混練して下さい。(2～3分)

※速硬性のため、練ってから 20 分以内に打設して下さい。

3. 打設(流し込み)・仕上げ

打設(流し込み)

速硬性のため、1度に施工できる面積は1坪(3.3㎡)以内です。

- ① ベンリーHL150 は、30cm 位ずつ移動させて打設を行って下さい。
- ② 所定の高さまでレベルを確認しながら打設を行って下さい。
- ③ 打設厚さが薄い場合は流れが悪くなるため、コテで均しながら打設を行って下さい。

仕上げ

粗面仕上げの場合、硬化前にほうき引き等を行って下さい。

4. 養生

施工後に降雨雪のおそれがある場合、又は、通風・日照の激しい時にはシート養生等の保護養生を行って下さい。

ベンリーHL150 の硬化反応時は、打設後 2 時間程度の間で 35～40℃程度に水和発熱しますので養生中は上に物を置かないようにして下さい。

夏場施工等、乾燥が著しい場合は散水を行って下さい。

5. 注意事項

1. 施工前に補修面を十分に水洗・清掃してください。
2. 気温が 5°C 以下及び 5°C 以下になると予想される場合は、施工を行わないでください。
3. 直射日光・風雨時にはシート掛け等、十分な養生を行ってください。
4. ベンリーHL150 の保管は、湿気・通風を避ける場所にしてください。
5. 固まったものの使用は避けてください。
6. ベンリーHL150 には練水の外、弊社が特に指定するもの以外は混入しないでください。
7. ベンリーHL150 硬化前の雨水等による濡れは、白華の原因となりますので注意してください。
8. ベンリーHL60 の品質保持期限は製造後 3 ヶ月です。